

新庁舎建設 ダイジェスト⑩

新庁舎建設事業の本体工事は、工程どおり順調に進んでいます。基礎工事や免震装置の取付工事が完了し、現在、建物本体の鉄骨の柱や梁の組立工事を進めています。工事の進ちよく状況は、施工業者のホームページでもご覧いただけます。

さて、連載第10回となる今号は、新庁舎建設の事業費や財源について紹介します。

岐阜市 新庁舎 現場 お知らせ [概要](#)



●事業費

事業費は、現在、266.5億円と計画しています。

その内訳は、現在工事を進めている新庁舎、立体駐車場および来年着工する外構の建設費(220.3億円)のほか、先行取得用地の買戻しや設計などの諸費(17.2億円)、現庁舎の解体・アスベスト除去費(9.0億円)、隣接民有地などの取得費(20.0億円)となっています。

単位：億円(税込)

内訳		現計画
庁舎建設	新庁舎	188.0
	立体駐車場	29.3
	外構	3.0
	建設費計	220.3
	先行取得用地の買戻し	10.1
	設計、工事監理、引越し	7.1
現庁舎解体	諸費計	17.2
	解体・アスベスト除去	9.0
	解体費計	9.0
小計		246.5
その他	隣接民有地・県道取得	20.0
合計		266.5

◎次回（広報ぎふ3月1日号）は、工事の進ちよく状況について紹介する予定です。

問 新庁舎開庁準備課 ☎214-2673 ・ FAX262-0512

●財源

事業費の約半分に、一般家庭の貯金にあたる基金(130.3億円)を活用します。

この他にも、国や県の補助金、元利償還金の70%が国から普通交付税で措置される、合併特例債や緊急防災・減災事業債といった有利な地方債を最大限に活用し、将来世代に負担が生じないように配慮に努めています。

単位：億円(税込)

内訳		現計画
基金	庁舎整備基金	91.8
	岐大跡地整備基金	38.5
	小計	130.3
補助金	国庫補助金(5種類)	5.95
	県補助金(1種類)	0.05
	小計	6.0
地方債	合併特例債	91.2
	緊急防災・減災事業債	8.0
	中心市街地活性化等特別対策債	8.7
	公共事業等債	15.7
	一般単独事業債	3.0
	小計	126.6
その他	負担金	0.5
	一般財源	3.1
	小計	3.6
合計		266.5